

日刊 磐城時報

編輯者 石城郡平町 印刷所 石城郡平町 電話 二四〇

元縣議大平町長

家調選舉で排斥される

勿來町の平和を攪亂したと全町會議員一致で彈劾

石城郡勿來町の家屋税調査委員と豫想されてゐる、認可と同時に...

江名漁業組合で

七萬圓の鯉船

百トン、二百五十馬力 鮪や鯉漁に有望

水道の認可

平町の上水道擴張工事の起債認可問題は内務省から大蔵省に書類が回送になつたが、...

榮樂師來る

四倉座 傳達式 昨十四日午後三時より四倉町新町千鳥ヶ岡公園に於て東京日々新聞社主催の全國勝景地投票募集に新獅子が百景に當選したのを推薦状の傳達式を行ひ、...

相馬支局通信

南相校運動會

郡南部各小學校聯合運動會は隔年小高及原町に於て舉行する事となりたるが、小學校の運動場が余りに狹隘なる處より、本年は来る廿一日原町夜の森公園運動場に於て舉行する事に決定したが、當日は優勝競争激戦あり、各小學校選手は目下猛練習中である。

教員競技會

相馬郡各小學校教員陸上競技大會は来る二十五日中村町馬陵グラウンドに於て舉行する。

石城郡の十七炭礦が 鑛業税を滞納

十三日平署で差押へる

平町稅務署管内の前年度鑛山税は合計十四萬五千七百七十五圓で、期間迄に完納したものは僅に四萬三千四百六十一圓だけで、...

二回の帝王切開に 成功した實川醫師

地方では困難な大手術 雙葉郡廣野村廣野野飲食店會に在る成功は實川醫師の優れた川マツヨ(假名)は四十一歳で初技術を物語るとして一般醫者めて妊娠し、去月十五日から約師が敬服してゐる。...

踏切問題 更に猛運動

大工町の 曲りなりに臨時議會の請願委員會を通過した平町の踏切問題、六月五、六、七の三日間北相馬町、...

井上茂作氏 縣下消防代表

北海議會に出席 平町消防組頭井上茂作氏は来る六月五、六、七の三日間北相馬町、...

謹告

本社主催第二回縣下中等學校野球大會を左の如く開催致します。 一日時六月二十二日 會場 平町磐城中等學校球場 本年參加校 磐城中等學校 雙葉中等學校 相馬中等學校 安田村中等學校 安積村中等學校 一試合方法 優勝戦 神戶丸善製オール ジャパンリンクボール

主催 磐城時報社

行學生列車が十四日午前七時ころ、...

窃盜犯捕はる

原籍相馬郡中村町宇向町前科五犯鎌田銀次(一九)は此程四倉署に捕はれ取調中なるも銀次は平町を中心として窃盜を働いて居る者なれば件數十數件を...

らさ盡力した木村、比佐兩郡出身の代議士も十五六日頃には歸郷するので、兩代議士の着郡をまつて關係者は今後の實現運動方法を協議並端の準備を整へたから、...

▲詐欺鮮人逮捕 平町 研町居住朝鮮人徐煥主(三三)は岩手縣水澤町で詐欺を働いて來た事水澤署方法を協議並端の準備を整へたから、...

時報文藝

(詩) 沈丁花 飯村閑舟
あさましく散る残りの花よ
沈みにふける

ハガキ集

(投書歓迎)
ふくろ「君近頃不良運轉手等
が裏町を横行したのを見たか
云ふのか?」

るかと思ひば、傍の朋輩の一
人は煙草も吸はずに點つて居
る。得意者が何うしたと聞く

胃腸科 松村村
内科 専門
十二指腸 腸胃病
婦人病 皮膚病

共済 存共
融金ノ易融
蓄貯ノ味趣
窓堅ト意誠

鼻の薬 チクノール
平五 山野邊藥局

所を通つて建具屋の職人金
平の長芋をつくりの青い馬面
を色男振つて顔見世して歩く

大内河傳次郎・伏見直江主
(入加新) 治文小川市・一香木葛・讓米久
子鈴十五田山・貢島寺・華桃土尾・二永木高

貸家あり
商店向き二ヶ所
家賃 十四圓五十錢
何れも水道の便あり

創業廣告
今般時代の趨勢に鑑み合資會社高橋商會を創
業いたし左記營業種目に依り親切第一主義を
以て營業致す事と相成候間何卒御利用御用命
の程を願申上候

女
原監督... 東坊城 恭長
脚色... 木村 惠吾
花柳 哀話 全十卷

生花教授
家元龍生派池坊
生花、盛花、投入、自然
華道教授 天水庵 岡田華悦

和洋銅鐵金物問屋
釜屋商店
諸橋元三郎
電話九番・一三九番

新入學期と時計
器械部戰線異狀なし
優良なる器械で安く
殊に學生は元價提供

油と味噌
山崎合名會社
東京支店
電話 下谷五七三番